（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州やまがたファン創出・移住・定住大作戦
事業主体 （連絡先）	山形村（企画振興課）
事業区分	（１）地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,763,884 円（うち支援金：　4,599,000 円）

事 業 内 容

人口減少や高齢化が進む中、将来の担い手となる人材（移住者）の確保することを目的に、人と人の結びつきを重視しながら、①来て、知って・②ファンになって・③住んでもらうための仕組みの構築をする。

そのために、交流イベントや座談会等を開催し、直接意見を交わせる機会を作り、一連の流れをモデル化し、先輩移住者と移住希望者を結び付ける。また、ＤＩＹ体験を通じて、「また来たい」と思うような愛着のある拠点の整備を実施する。

【山形村体験イベントの様子】

【目標・ねらい】

① 山形村移住推進のモデル化
② 移住希望者と村民がつながる
③ 移住希望者の拠点づくり

事 業 効 果

事業を通じて、１組が実際に移住し、また２組の移住予定（R6 予定）、１組の就業体験につながった。

イベント参加者数延べ５７人

（内訳：ツアー２３名　DIY２７名　移住相談７名）

銀座 NAGANO 来場者：約２００名

イベントを通して、実際の山形村を体験することで、個人では得られない繋がりや、現地でしか得られない経験が移住を後押しした。

※自己評価【　B　】

【理由】

イベントから移住へ繋がるという実績は得られ、効果的であることが分かった。周知力や事業に関係する人数を増やすことで、効果の増大を図りたい。

今後の取り組み

事業１年目として取り組んだ内容は、効果的であることが確認できたため、２年目以降は、１年目の内容をモデル化し、更にサポーター及びプレーヤーを増やして、事業の効果や規模の拡大に取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある